

## 「南東アジア・東アジア環境と保健に関する地域フォーラム」 廃棄物作業部会について

### 1. 「東南アジア・東アジア環境と保健地域フォーラム」の設立

「環境と保健に関する地域フォーラム」は、南東・東アジア地域において、

- ・ 環境・保健に関する問題に地域の能力を高めて効果的に対処すること、
- ・ 地域内での環境・保健に関する戦略や規制の実施を促進すること

を目的に、2007年8月にタイ・バンコクで開催された閣僚級会合において設立された。事務局は、世界保健機関(WHO)西太平洋地域事務所と国連環境計画(UNEP)アジア太平洋地域事務所。アジア開発銀行(ADB)などが協力。

### 2. テーマ別作業部会(Thematic Working Group: TWG)

以下の6つのテーマを2007～2009年の重点分野とし、地域フォーラムの下にテーマ別作業部会が設置された。

- |                     |               |
|---------------------|---------------|
| ① 大気質及び騒音           | ② 水供給・処理・衛生   |
| ③ 固体廃棄物及び有害廃棄物      | ④ 有毒化学物質・有害物質 |
| ⑤ 気候変動・オゾン層破壊・生態系変化 | ⑥ 危機・災害対応計画   |

テーマ別作業部会は、知識の向上と技術的支援、地域フォーラムへの報告、関連調査と行動の促進、資金配分(財政支援が必要な活動の優先順位付け)等の活動を行う。

### 3. 廃棄物作業部会(TWG on Solid and Hazardous Waste)

参加メンバーは、東南アジア10カ国(ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)、東アジア3カ国(中国、日本、モンゴル)、UNEP、WHO、国連アジア太平洋経済社会理事会(UNESCAP)、ADB、アジア工科大学(AIT)、海外環境協力センター(OECC)等。議長は橋詰博樹兵庫県参事。事務局はUNEPアジア太平洋事務所。

### 3. 廃棄物作業部会の進捗状況

- ・ 都市廃棄物(生ごみ)、医療廃棄物について、各国の優良取組事例、課題を収集整理して、地域各国の共有ナレッジとするとともに、今後必要な行動について提言を行うことを内容とする2007年～2009年の作業計画が閣僚級フォーラムで承認された。
- ・ 2008年2月、第1回作業部会がシンガポールで開催され、各国の医療廃棄物管理の現状と課題の情報を共有。また、都市廃棄物を含め、今後の作業計画の具体化を検討した。